



大阪錦繪新聞

四橋西北情郎
猩々堂九化記

子代の白牡丹

傳とつと
知さる

新町南通三丁目木原の店を返りて孫とあせり
小櫻といへる娼妓ハ艶容名の如くまろくく
赤心の強氣ハ壯男も及ばず奴の小萬も
肌足で逃出―巴枝額も今あつた
降余あすへ―爰は再ける人カ
車の二件ハ新町中ハ評判高
風説紛々何まを是ありと
記者も判せを其實説を
正さんとあふ一遊樓ハ登土
あつて其本人ハ聴聞あまう

笹本おきし

彫淺二良
石和板

